

## 平成26年度第2回融資運営委員会 議事録

■日時：平成26年12月16日（火）10時から11時30分

■場所：第二庁舎三階 306庁議室

■出席委員：流山商工会議所専務理事 上坂 操

千葉銀行流山支店長 成島 崇

流山商工会議所常議員 小山 忠士

税理士 澤田 敬

市民代表 青木 俊雄

市民代表 柴田 千絵

■事務局：流山市役所産業振興部長 福留 克志

流山市役所産業振興部次長兼商工課長 金子 孝行

流山市役所産業振興部商工課係長 柳 浩樹

流山市役所産業振興部商工課事務員 稲村 陽

■傍聴人：0名

■議題：

1 開会

2 委員長あいさつ

3 議題

(1)平成26年度融資状況について

(2)流山市中小企業資金融資条例及び流山市中小企業資金融資利子補給条例の一部を改正する条例の制定について

(3)利子補給事務の手続きについて

(4)平成27年度の貸付利率等について

■議事録：

1 開会（金子次長）

2 委員長あいさつ

3 議題

(1) 平成26年度融資実績について

\*質疑・コメント

委員：金融機関別貸付残高状況は、平成24年度、平成25年度に比べて運用率が下がっているが、これは良い状況と見てよいのか

事務局：市では1億3,000万円を金融機関に預託し、協調倍率10倍にて、13億円の枠を各金融機関に割り振り、その枠の中で、融資をして頂いて

いる。運用率が低下しているということは、13億の枠に対して、貸付残高が減っているという事である。

\*成島委員より補足

様々な要因が考えられる。住宅ローン等も含めると、金融機関全体では融資の残高は増加している状況であるが、企業に絞ってみると、設備投資ではなく借り換えが目的の融資だったり、残高の増加には結びついていない状況。

また、金融機関同士の競争も激化できているため、保証協会の利用を前提とした融資ではなく、金融機関プロパーの貸付が増えている。低下には歯止めがかかっていない状況である。

(2) 流山市中小企業資金融資条例及び流山市中小企業資金融資利子補給条例の一部を改正する条例の制定について

\*質疑・コメント

委員：創業支援事業のPRについてはどのように行っていくのか。

事務局：市の広報・HPをはじめ、チラシ・ポスター等でも行っていく。条例改正については3月議会ではかることになるが、了承が得られ次第、すぐにPRが実行できるよう、準備を進めている。

委員：流山商工会議所で9月から行った創業スクールはどのようなものだったか。

上坂委員：参加者は20名程度で、女性が7割程度いた。

成島委員：以前に比べて開業の形態も変化してきており、統計上も女性の創業が増えてきている。

委員：今回の創業支援事業計画は経産省と総務省に提出されているが、地方創生会議やとの関連はどのようになっているのか。

成島委員：地方創生会議は経産省や総務省の上部組織にあたり、その意思決定をもって各省庁が連携・実行していく形になっている。

(3) 利子補給事務の手続きについて

\*質疑・コメントなし

(4) 平成27年度の貸付利率等について

\*成島委員より最新の金融情勢についてお話

まず金利動向について。10月末にも日銀が追加緩和を行ったが、今後も追加緩和を継続するというので、低下傾向が続いていくと思われる。

物価目標2%上昇が挙げられているが、消費増税後は実質0.9%上昇に留まっている。また、ここに来て原油安の影響もあり、来年は0.5%程度の上昇に留まる予想も出ているので、一層の追加緩和が行われる可能性もある。

国内の経済状況については、11月の発表で想定外のマイナス成長が明らかになった。最新の日銀の短観では、10月以降の企業の設備投資には改善が見られる。円安と原油安の影響は、企業によって異なる状況。消費動向については、年末に来て明るさが見えてきた。今後、アベノミクスによって大企業中心に賃金上昇が見えてきた。これまでは物価が上昇する中で賃金に反映されないの、消費にも影響が出ていたが、物価上昇が緩やかな中で賃金が上がる見通しが立てば消費にはプラスになっていくと思われる。

上期は消費良くない、内需良くないという状況の中で、設備投資が抑制された。消費の回復次第ではあるが、上振れの傾向が見えてきた。

経営者と日々お話をして感じる事がいくつかある。自動車関連の事業者の方のお話では、国内の販売は落ち込んでいるが海外への販売は鈍子が良く、特に部品販売は景気が良いものの、中国から原材料を輸入しているような企業は、円安によるコスト高で厳しい状況にあるとのこと。

設備という話に関しては、人口増の中で介護施設、マンションデベロッパーの開発は旺盛である。この地域については長期的にも明るく、マーケットとして有望なので、ぜひ地域で創業する人が増えてほしいと思うし、引き続き地元金融機関として、市役所や商工会議所と連携して支援を行っていきたい。

事務局：平成27年度の融資利率については、現在のようなお話や、最新の動向を踏まえて協議のうえ、市内事業者が利用しやすいものにしていきたい。利率が決定した段階で、委員の方々にはお知らせをさせて頂く。

#### 4 閉会